



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 ワシントンホテル株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4691 URL <https://www.washingtonhotel.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 内田 和男  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理財務部部长（氏名） 森 良一（TEL）052(745)9036  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,994	8.5	1,436	△37.0	1,135	△48.1	1,103	△51.7
2023年3月期第3四半期	12,902	126.9	2,280	—	2,189	—	2,282	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第3四半期	91.51		—					
2023年3月期第3四半期	189.29		—					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,431	7,772	21.3
2023年3月期	35,706	6,607	18.5

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 7,772百万円 2023年3月期 6,607百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,279	10.0	1,703	△43.0	1,280	△54.5	1,242	△61.4	102.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	12,170,000株	2023年3月期	12,170,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	111,850株	2023年3月期	111,850株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	12,058,150株	2023年3月期3Q	12,058,150株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイト (<https://www.washingtonhotel.co.jp/>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期貸借対照表関係)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化を反映し、国内景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、物価上昇や地政学的リスクが継続しており、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、ビジネス需要がコロナ前には戻らない中、レジャー需要は活発化しておりコロナ前の水準まで回復してまいりました。インバウンドにおいても、中国を除いて増加し、2023年12月単月では273万4千人（2019年同月比108.2%—日本政府観光局発表）となりコロナ前を上回りました。

このような環境下、当社は国内外の旅行代理店へのセールスや海外商談会への出展等の営業活動を継続強化し、当第3四半期累計期間における国内の旅行代理店経由の売上はコロナ前の2019年度同期間対比で197.5%、国外の旅行代理店経由の売上は同111.5%となり、成果が出てきております。加えて、今後の受注を更に伸ばせるように、12月1日からは当社営業本部内に予約センターを新たに開設いたしました。また、同時期に当社ホームページ上において、グループでのご利用をお客様が直接申し込めるグループ・団体の受付窓口を開設し、新たなチャネルとして機能させております。

一方、当社の会員制プログラム「宿泊ネット」については、キャンペーン等の実施により、会員登録者数が期初の32万人から約20%増加し、12月末日時点で38万人となりました。

設備面においては、Wi-Fiの速度増強工事を全43事業所で完了したほか、R&Bホテルの蒲田東口、東京東陽町にはエアウィーヴのマットレスを全室に導入するなど品質の向上、使い勝手の向上を図っております。また、R&Bホテル大塚駅北口と熊本ワシントンホテルプラザの全館リニューアル工事はフロアごとに順次進めており、それぞれ2024年7月と8月に完了する予定ですが、既に完成した一部の客室については、先行して販売を開始しております。

なお、前期にリニューアルを実施したR&Bホテル上野広小路をはじめとした東京地区では稼働が増加し、秋の観光シーズンは全国的に需要が高まりましたが、平日のビジネス出張が低調に推移していることや中国からのインバウンドが回復途上であるほか、リニューアル中の一部客室を販売休止にしている影響もあり、当第3四半期累計期間の客室稼働率は64.2%（第1四半期会計期間64.7%、第2四半期会計期間61.8%、当第3四半期会計期間66.1%）となり、客室単価は当第3四半期累計期間では7,084円（第1四半期会計期間6,781円、第2四半期会計期間7,111円、当第3四半期会計期間7,353円）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高13,994,404千円（前年同四半期8.5%増）、営業利益1,436,819千円（前年同四半期37.0%減）、経常利益1,135,477千円（前年同四半期48.1%減）、四半期純利益1,103,471千円（前年同四半期51.7%減）となりました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ724,419千円増加の36,431,090千円となりました。これは主に現金及び預金が1,241,241千円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ440,152千円減少の28,658,950千円となりました。これは主に流動負債その他に含まれる未払消費税等が502,256千円減少した一方、未払金が131,748千円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、主に四半期純利益を計上したことにより前事業年度末に比べ1,164,572千円増加の7,772,140千円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

今後、業績予想の修正が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,999,687	10,240,928
売掛金	1,532,965	1,024,873
原材料及び貯蔵品	39,430	61,701
前払費用	452,858	472,252
その他	30,144	13,155
流動資産合計	11,055,087	11,812,912
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,307,628	9,015,271
工具、器具及び備品（純額）	233,267	306,431
土地	5,564,875	5,564,875
リース資産（純額）	4,428,271	4,286,836
建設仮勘定	836	202,605
その他（純額）	114,309	107,865
有形固定資産合計	19,649,188	19,483,886
無形固定資産		
電話加入権	21,047	21,047
ソフトウェア	111,634	154,081
その他	22,692	20,024
無形固定資産合計	155,374	195,153
投資その他の資産		
投資有価証券	129,676	220,360
長期貸付金	4,700	1,200
長期前払費用	62,158	65,663
繰延税金資産	226,534	194,451
差入保証金	4,415,218	4,447,566
その他	27,632	28,796
貸倒引当金	△18,900	△18,900
投資その他の資産合計	4,847,020	4,939,138
固定資産合計	24,651,583	24,618,178
資産合計	35,706,670	36,431,090

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	120,825	209,917
短期借入金	8,000,000	8,000,000
1年内返済予定の長期借入金	3,152,005	3,634,072
リース債務	146,406	149,623
未払金	833,582	965,330
未払費用	269,940	297,988
契約負債	58,594	50,747
未払法人税等	30,972	23,229
賞与引当金	80,166	60,297
その他	771,492	269,022
流動負債合計	13,463,985	13,660,228
固定負債		
長期借入金	9,613,324	9,131,257
リース債務	5,230,552	5,117,927
長期末払金	253,537	213,403
株式報酬引当金	32,539	29,614
再評価に係る繰延税金負債	422	422
資産除去債務	438,056	439,410
その他	66,685	66,685
固定負債合計	15,635,117	14,998,721
負債合計	29,099,102	28,658,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,307,624	4,307,624
利益剰余金	3,215,044	4,318,516
自己株式	△84,207	△84,207
株主資本合計	7,538,461	8,641,933
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,559	75,659
土地再評価差額金	△945,452	△945,452
評価・換算差額等合計	△930,893	△869,792
純資産合計	6,607,568	7,772,140
負債純資産合計	35,706,670	36,431,090

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	12,902,830	13,994,404
売上原価	10,069,435	12,016,682
売上総利益	2,833,395	1,977,722
販売費及び一般管理費	552,517	540,902
営業利益	2,280,877	1,436,819
営業外収益		
受取利息及び配当金	179	172
受取手数料	91,531	22,415
受取保険金	1,670	825
受取解約金	84,717	—
雇用調整助成金	53,907	4,945
感染拡大防止協力金受入額	25,075	—
その他	18,676	11,912
営業外収益合計	275,758	40,271
営業外費用		
支払利息	334,619	330,754
支払手数料	8,730	2,887
その他	23,850	7,970
営業外費用合計	367,201	341,613
経常利益	2,189,434	1,135,477
特別損失		
固定資産除却損	1,473	8,505
その他	—	271
特別損失合計	1,473	8,776
税引前四半期純利益	2,187,961	1,126,700
法人税、住民税及び事業税	△94,484	23,229
法人税等合計	△94,484	23,229
四半期純利益	2,282,446	1,103,471

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期貸借対照表関係)

偶発債務

労災事故

2022年4月に発生した労災事故について、当社に対して2023年5月29日付で損害賠償請求の訴訟が提起され、同年6月5日付で札幌地方裁判所より訴状の送達を受けました。(損害賠償請求額は123,167千円)

当社といたしましては、訴訟内容を慎重に検討のうえで適切に対応しております。訴訟の推移によっては、今後の業績に影響を及ぼす可能性があります。現時点ではその影響を予測するのは困難であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。